

2025年7月18日

第1回学校評価

～結果と考察について～



R7.7.11 防災熟議で発表する6年生

桜山小学校 校長 北岡 誉久

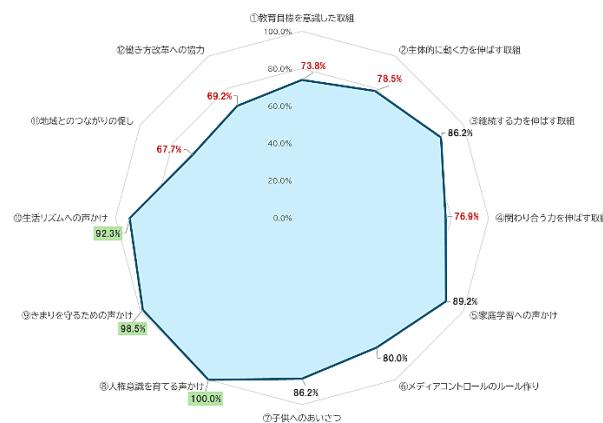
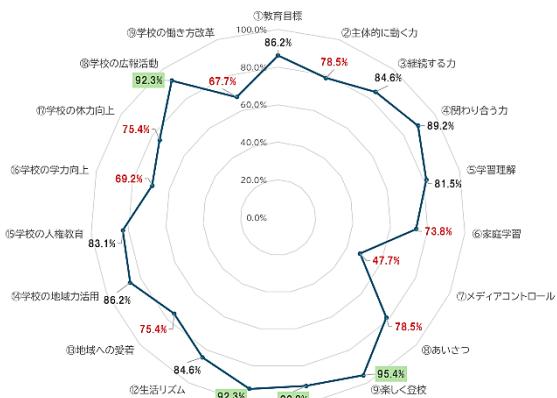
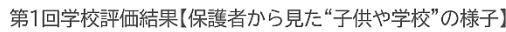
令和7年度桜山小学校【1回目】学校評価アンケート集計結果

荒尾市立桜山小学校 校長 北岡 誉久

1回目の学校評価アンケートありがとうございました。本年度から2回の学校評価を実施することとしました。今回の結果を基に、夏休み明け以降、修正できるところを検討して教育活動に取り組んで参ります。

※グラフは、各質問項目において「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を併せて数値となっていますので、低い項目は「どちらかといえばそう思わない」「思わない」「わからない」の数値が高いことを意味します。

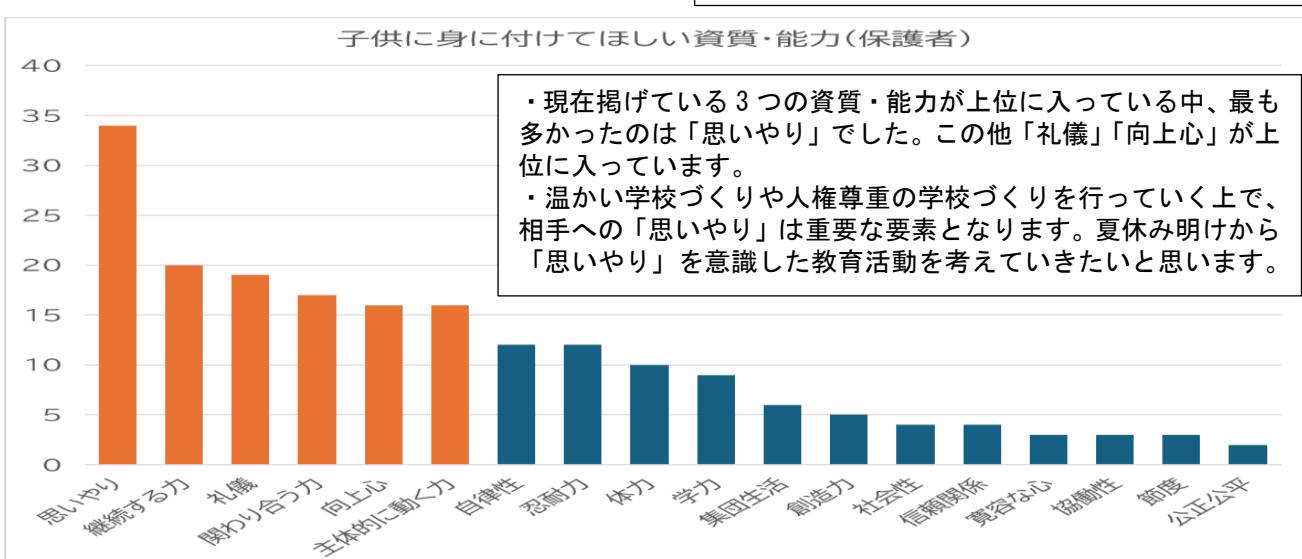
【保護者による評価】 回収率 53% ※次回は回収率 7割以上を目指したいと思います



	質問事項	肯定的な回答割合
①	お子さんは、負責目標「健やかで、豊かな心と確かな学力を身に付け、未来を力強く切り拓く子ども」に育っていると思いますか。	86.2%
②	お子さんは「主体的に動く力」が身に付いていると思いますか。	78.5%
③	お子さんは「継続する力」が身に付いていると思いますか。	84.6%
④	お子さんは「個わり合う力」が身に付いていると思いますか。	89.2%
⑤	お子さんは「学習内容がわかる」と言っていますか。	81.5%
⑥	お子さんは、進んで宿題や家庭学習に取り組んでいますか。	73.8%
⑦	お子さんは、メディアの時間（スマホやテレビ、ゲームなど）をコントロールする力が身に付いていると思いますか。	47.7%
⑧	お子さんは、登下校など地域において、明るく元気なあいさつをしていると思いますか。	78.5%
⑨	お子さんは、楽しく学校に通うことができていますか。	95.4%
⑩	お子さんは、いいじめを許さないなどの人権意識が育っていると思いますか。	90.8%
⑪	お子さんは、東京やまきり（地盤における炎えしールや移住者会、公園などの森の守護方針）をキーティングとありますか。	92.3%
⑫	お子さんは、生活リズム（早寝・早起き・朝ご飯）の習慣が身に付いていると思いますか。	84.6%
⑬	お子さんは、地域とのつながり（地域での行事や活動等）を通して、地域への愛着が身に付いていると思いますか。	75.4%
⑭	萩山小は、子供たちの良きを伸ばすために、卒業式卒業証書や地元人材を活用したお祝いに力を入れてているとありますか。	86.2%
⑮	萩山小は、いじめや差別をなくすために、人権教育や心の教育の力を入れていると思いますか。	83.1%
⑯	萩山小は、学力を伸ばすために授業や個別指導などを工夫して行っていると思いますか。	69.2%
⑰	萩山小は、体力と健康意識を考えた取組を工夫して行っていると思いますか。	75.4%
⑱	萩山小は、学校や学年の様子及びお知らせ（学年より一歩ホームページ・学級連絡・安心メール等）を適切に伝えていると思いますか。	92.3%
⑲	萩山小は、職員の働き方改革に向けた業務改善や家庭・地域の理賛が進んでいると思いますか。	67.7%

質問事項		肯定的な回答割合
①	あなたは、教育目標「健やかで、豊かな心と確かな学力を身に育て、未来を力強く切り拓く子どもの育成」に向けて家庭でも意識した取組をしてていますか。	73.8%
②	あなたは、お子さんの「主体的に動く力」を伸ばすために、家庭でも意識した取組をしてていますか。	78.5%
③	あなたは、お子さんの「継続する力」を伸ばすために、家庭でも意識した取組をしてていますか。	86.2%
④	あなたは、お子さんの「関わり合う力」を伸ばすために、家庭でも意識した取組をしてていますか。	76.9%
⑤	あなたは、お子さんが進んで宿題や家庭学習に取り組むような声かけをしていますか。	89.2%
⑥	あなたは、お子さんのメディアの時間（スマートテレビ、ゲームなど）をコントロールする力が身に付くようなルールを話し合って決めていますか。	80.0%
⑦	あなたは、自分から進んでお子さんに明るく元気なあいさつをしていますか。	86.2%
⑧	あなたは、お子さんに対して、いじめを許さないなどの人権意識を育てる言葉かけなどをしていますか。	100.0%
⑨	あなたは、お子さんが約束やつまり（地域における交通ルールや宿泊特例、公園などの遊び方等）を守るような声かけをしていますか。	98.5%
⑩	あなたは、お子さんの生活リズム（早寝・早起き・朝ご飯）、習慣がどのように付くように、声かけをしていますか。	92.3%
⑪	あなたは、お子さんの地域への愛着を身につけるために、地域とのつながり（地域での行事や活動等）への参加を促すなどの声かけをしていますか。	67.7%
⑫	桜山小の働き方改革に向けた業務改善について、理解・協力をしていますか。	69.2%

学校運営や子供の成長において当事者意識を持つていただくために、本年度から保護者自身の評価も実施しました。12月に2回目を実施しますので、自分事として実践をされてみてください。



【学校教育目標等に関する内容 問1～問4】

- ▲ 「主体的に動く力」において低い評価でした。学年にもよると思いますが、子供たちに任せることを増やしていかなければ、この力は育ちにくいものです。放任することは違いますが、子供たちに任せることを増やしていきましょう。
- ▲ 学校教育目標や身についてほしい資質・能力は、学校だけで実現できることではありません。学校・家庭・地域、そして子供たちも一緒に考えて取り組むことで為し得るものなので、ご協力を願います。

【学習に関する内容 問5～問6】

- ▲ 「家庭学習」が低い評価でした。お声かけはしていただいているようですが、こちらは⑦のメディアコントロールとも関連しているのかもしれません。学校としましても、子供たちが、主体的に家庭学習に取り組めるような課題の出し方など工夫をしたいと思いますので、引き続きお声かけを願います。

【子供さんの様子や家庭生活及び地域とのつながりに関する内容 問7～問13】

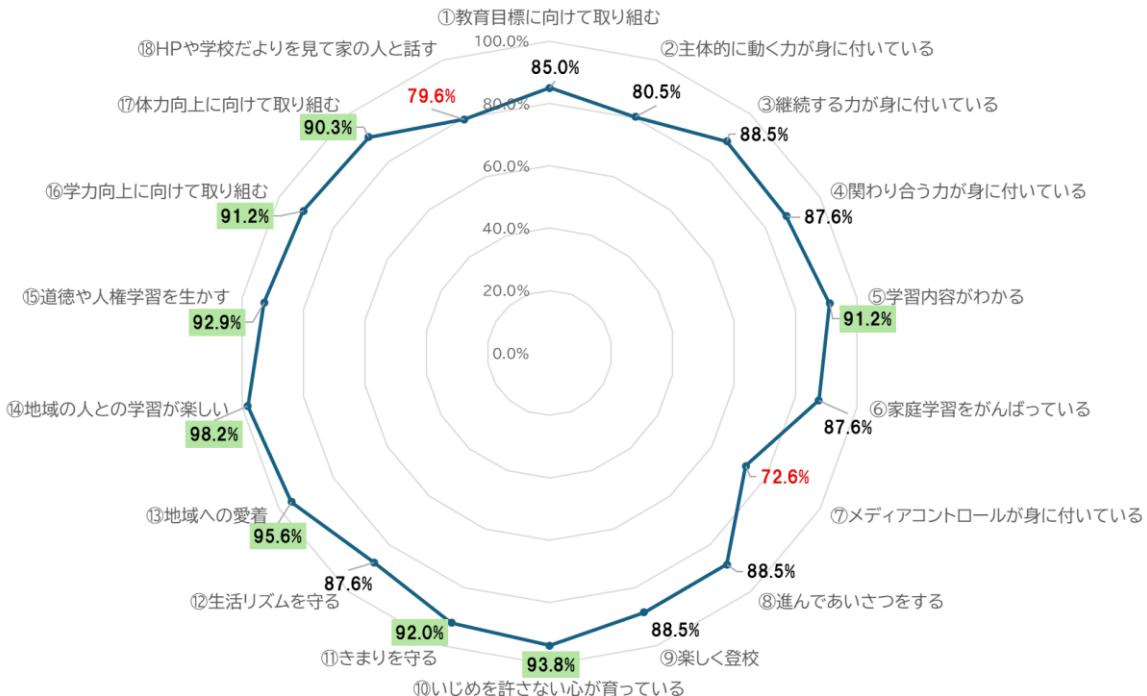
- 「楽しく登校する」「人権意識が育っている」「きまりを守っている」の項目が高い評価だったことに感謝いたします。しかし、これに満足することなく、少しづながら「楽しく登校できていないこと」「人権意識が育っていないこと」へのアプローチを忘れず取り組んで参ります。
- ▲ 「あいさつ」「地域への愛着」が低い評価でした。「あいさつ」については、先日の学校運営協議会でも子供たちと委員の方との話し合いにおいて話題になった項目でした。「あいさつをすることの意味」「あいさつをすることで不審者対策にもつながる」といった意見が出していました。個人差はあると思いますが、私たち大人も一緒になって育んでいきたいと思います。また、「地域への愛着」については、子供たちとの乖離も大きかったようです。本校は、地域の方と一緒にやって取り組む「防災実践」「クリーン作戦」「げんき祭り」などを通じて愛着を育んでいます。20～30年後の地域を担う人材育成についてご理解ください。

【桜山小の取組に関する内容 問14～問19】

- ▲ 「学力の向上」「体力の向上」について低い結果でした。授業参観だけではなかなか日頃の授業の様子がわかりづらいと思います。現在、本校では“あらおベーシック”という子供たちが主体となって学びを進める授業スタイル（受け身になって学ぶのではなく、自分たちで学習を進め、学びを深めていく）を全学級で取り組んでいます。年度末までには、この授業スタイルの参観を計画しますので、一度ご覧ください。
- 働き方改革につきましては、第2段階に入っていると思っています。第1段階は、市教委からの提供で「留守番電話の設置」「在校時間把握のデジタル化」「校務用PC等の整備（他の市町よりもかなり進んでいる）」「日課の工夫等による放課後の時間の確保」といったことです。今後は、第2段階としてこれらによって生み出された時間を活用し、子供たちに良質な教育を提供することを考える必要があります。そのためには、職員が心身共に健康な生活を心がけることが重要であり、保護者や地域住民の理解も必要になってきますので、ご協力いただきますようお願いします。

【児童による評価】

第1回学校評価結果【児童の評価(全学年)】



	質問事項	肯定的な回答割合
①	「夢（ゆめ） チャレンジ 仲間（なかま）とともに そして、地域（ちいき）とともに」に むけた とりくみ ができるとおもいますか。	85.0%
②	「主体的に動く力（しゅたいいてきにうごくから）」が みについていると おもいますか。	80.5%
③	「継続する力（けいぞくするから）」が みについていると おもいますか。	88.5%
④	「関わり合う力（かかわりあうちから）」が みについていると おもいますか。	87.6%
⑤	がっこうの じゅぎょう（がくしゅうないよう）は わかりますか。	91.2%
⑥	しゅくだいや かていがくしゅうを くふうして がんばっていますか。	87.6%
⑦	メディア（スマホやテレビ、ゲームなど）のじかんを コントロールする ちからが みについていると おもいますか。	72.6%
⑧	じぶんから おうちや ちいきで あかるく げんきな あいさつを することができますか。	88.5%
⑨	たのしく がっこうに かようことが できていますか。	88.5%
⑩	ともだちを からかったり、いじめたりすることを ゆるさない こころが みについて いますか。	93.8%
⑪	がっこうや いえ、ちいき（こうえん）での やくそくや きまり（こうつうルールも）を まもった せいかつが できていますか。	92.0%
⑫	せいかつリズム（はやね・はやおき・あさごはん）は まもれていますか。	87.6%
⑬	ちいきとの つながり（ちいきでの ぎょうじや かつどう）を とおして、さくらやまの こうくや あらおしのことを たいせつに したいと おもいます	95.6%
⑭	ちいきのひとたちと いっしょに がくしゅうや かつどうを することは たのしいですか。	98.2%
⑮	いじめや さべつを なくために、どうとくや じんけんがくしゅうで まなんだことを いかして せいかつして いますか。	92.9%
⑯	じぶんの がくりょくを のばすために せっきょくてきに じゅぎょうに さんかしたり、かていがくしゅうに とりくんだり していますか。	91.2%
⑰	たいりょくの こうじょうや けんこうを かんがえた せいかつを おくっていますか。	90.3%
⑱	がっこうだよりや がっこううつしん、ホームページをみて、おうちのひとと はなしていますか。	79.6%

【学校教育目標等に関する内容 問1～問4】

- 学校教育目標に向けた取組や3つの資質・能力（主体的に動く力、継続する力、関わり合う力）が身についていることを肯定的に捉えている子供が多いことは大変喜ばしいと思います。授業や日常生活でも意識していることの表れだと思います。
ただし、学年別で見ると肯定率に差があるのも事実です。それぞれの資質・能力を具体的な姿で示すといったことも今後必要になってくると思います。
- ▲ 保護者や教職員の回答と比較してもわかりますように、大人の受け止めとの「ずれ」があることについては、その要因を含めて注意深く見ていく必要があると考えます。

【学習に関する内容 問5～問6】

- 「授業（学習内容）がわかる」と答えていたる子供は、91%であり各学年を見ても80%を超えていました。しかしながら、「わかったつもり」にはなることができても、本当に自分の中に身に付くには、「友達に教えられるようになる」「自分で問題を作ることができるようになる」ことが必要です。そうした点を今後重視していきます。そうすることで、「学習が好き」と言える子供たちを増やしていくことにつながると考えています。なお、この逆の回答をしていた少数の子供たちのことに目を向け、「誰一人取り残さない学びの保障」を進めて参ります。

【生活及び自分自身のことに関する内容 問7～問12】

- 「楽しく学校に通うことができる」という項目について、88%を超す肯定的な回答でした。引き続き、子供たちにとって心理的安全性の高い学校・学級にしていきます。
しかし、少数ながらその逆の回答をしている子供たちがいることに目を向け、全ての子供たちにとって安心・安全な学校づくりを進めて参ります。
- 「友達をからかったり、いじめたりすることを許さない心が身についていますか。」という問い合わせに対して、93%を超える肯定的な回答がありました。今後もいじめを含め、部落差別を始めとする様々な差別問題は、差別する側の問題であることを理解し、実践行動に移せるようにしていきます。
- ▲ メディアコントロールについては、一部の学年を除いて低い結果でした。このことにつきましては、学校でも全体指導を進めて参りますが、学校だよりNo.7にも掲載していましたように、ルール作りができていないご家庭も3割近くあったようです。今一度各家庭で話し合いのもとルール作りをお願いします。

【地域とのつながりや学んだことを生かそうとすることに関する内容 問14～問17】

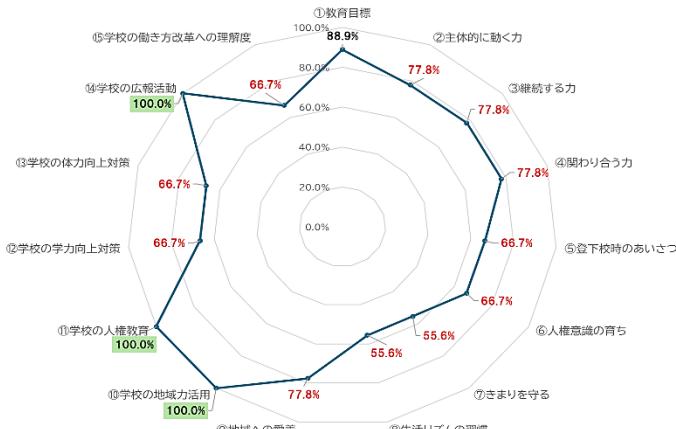
- 保護者の評価では高くなかった「問13や問14」の回答は90%を超えています。
各学年では、積極的に地域の教育力を導入したり、地域と一体となった防災実践やクリーン作戦などを通して、地域愛が醸成されていると考えられます。
- ▲ 日常的に体を動かすことに関しては、二極化が進んでいます。運動の習慣化を図ることで、生涯にわたって体を動かすことの楽しさを味わえるように取り組んでいく必要があると考えています。

【学校からのお知らせを家族と共有することに関する内容 問18】

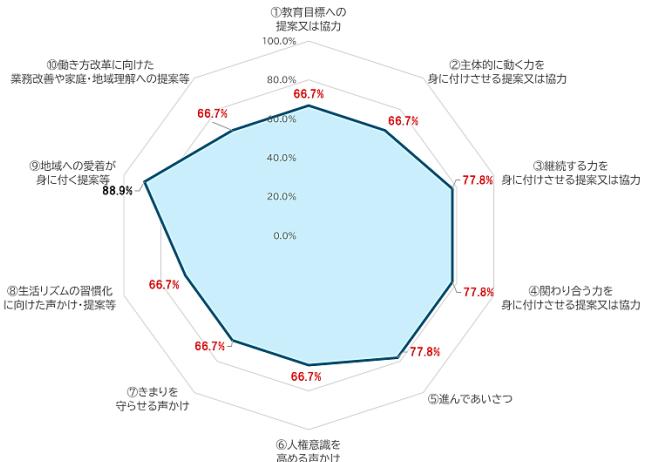
- ▲ 子供たちは、学校の情報（HPや学校だより等）について、家庭で話題にしていないようです。引き続き発信していきますので、ご家庭での話題づくりになれば幸いです。

【学校運営協議会委員による評価】

第1回学校評価結果【学校運営協議会委員から見た“子供や学校”的様子】



第1回学校評価結果【学校運営協議会委員自身の評価】

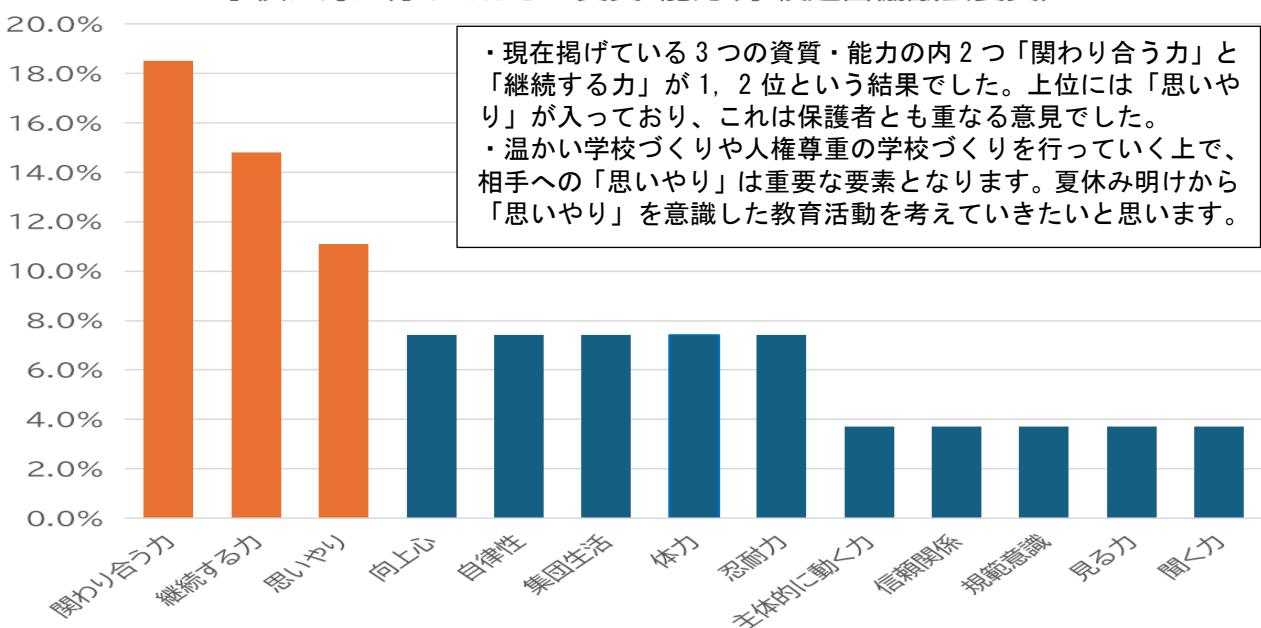


	質問事項	肯定的な回答割合
①	子供たちは、教育目標「健やかで、豊かな心と確かな学力を身に付け、未来を力強く切り拓く子ども」に育っていると思いますか。	88.9%
②	子供たちは「主体的に動く力」が身に付いていると思いますか。	77.8%
③	子供たちは「継続する力」が身に付いていると思いますか。	77.8%
④	子供たちは「関わり合う力」が身に付いていると思いますか。	77.8%
⑤	子供たちは、登下校など地域において、明るく元気なあいさつをしていると思いますか。	66.7%
⑥	子供たちは、いじめを許さないなどの人権意識が育っていると思いますか。	66.7%
⑦	子供たちは、約束やきまり（地域における交通ルールや帰宅時刻、公園などの遊び方等）が守られていると思いますか。	55.6%
⑧	子供たちは、生活リズム（早寝・早起き・朝ご飯）の習慣が身に付いていると思いますか。	55.6%
⑨	子供たちは、地域とのつながり（地域での行事や活動等）を通して、地域への愛着が身に付いていると思いますか。	77.8%
⑩	桜山小は、子供たちの良さを伸ばすために、学校運営協議会や地域人材を活用した取組に力を入れていると思いますか。	100.0%
⑪	桜山小は、いじめや差別をなくすために、人権教育や心の教育に力を入れていると思いますか。	100.0%
⑫	桜山小は、学力を伸ばすために授業や個別指導などを工夫して行っていると思いますか。	66.7%
⑬	桜山小は、体力や健康面を考えた取組を工夫して行っていると思いますか。	66.7%
⑭	桜山小は、学校や学級の様子及びお知らせ（学校だより・ホームページ・学級通信・安心メール等）を適切に伝えていると思いますか。	100.0%
⑮	桜山小は、職員の働き方改革に向けて業務改善や家庭・地域の理解が進んでいると思いますか。	66.7%

	質問事項	肯定的な回答割合
①	あなたは、教育目標「健やかで、豊かな心と確かな学力を身に付け、未来を力強く切り拓く子どもの育成」に向けて提案又は協力をしていますか。	66.7%
②	あなたは、子供たちの「主体的に動く力」を伸ばすための提案又は協力をしていますか。	66.7%
③	あなたは、子供たちの「継続する力」を伸ばすための提案又は協力をしていますか。	77.8%
④	あなたは、子供たちの「関わり合う力」を伸ばすための提案又は協力をしていますか。	77.8%
⑤	あなたは、自分から進んで登下校など地域において、子供たちに明るく元気なあいさつをしていますか。	77.8%
⑥	あなたは、子供たちに対して、いじめを許さないなどの人権意識を育てる言葉かけなどをしていますか。	66.7%
⑦	あなたは、子供たちが約束やきまり（地域における交通ルールや帰宅時刻、公園などの遊び方等）を守るような声かけをしていますか。	66.7%
⑧	あなたは、子供たちの生活リズム（早寝・早起き・朝ご飯）の習慣が身に付くように、家庭への声かけや啓発等の提案又は協力をしていますか。	66.7%
⑨	あなたは、子供たちに対して、地域とのつながり（地域での行事や活動等）を通して、地域への愛着を身につける提案又は協力をしていますか。	88.9%
⑩	桜山小の働き方改革に向けた業務改善や家庭・地域理解に向けて、提案又は協力をしていますか。	66.7%

学校運営や子供の成長において当事者意識を持っていたいただくために、本年度から運営協議会委員自身の評価も実施しました。12月に2回目を実施しますので、自分事として実践をされてみてください。

子供に身に付けてほしい資質・能力(学校運営協議会委員)



【学校教育目標等に関する内容 問1～問4】

▲ 学校運営協議会制度が導入される前の「学校評議員制度」との大きな違いは、学校運営協議会委員となった方々は、学校とともに学校運営を担う責任があることです。今後、様々な場面で本校の教育活動にそれぞれの立場から関わっていただき、ご提案などをお願いします。

【子供たちの生活や規範意識、地域愛の育成に関する内容 問5～問9】

▲ いずれも肯定的回答は低かったのですが、内訳を見てみると「わからない」という回答が多かったためのようです。学校や地域での様子など、なかなか見えづらい部分もありますので、先日行いました熟議に限らず、校内にいつでも足を運んでいただき日頃の子供たちの様子を見ていただきたいと思います。

【桜山小の教育活動に関する内容 問10～問15】

○ 学校運営協議会をはじめとする地域力活用、学校における人権教育、学校の広報活動において高い評価をいただきました。学校運営協議会設立当初から、本校では地域とのつながりを重視し、地域と一体となった取組を多数行ってきた成果だと思います。今後もよろしくお願いします。

▲ 「学力向上対策」「体力向上対策」につきましては、授業の様子を見ていただくのが一番だと思います。日頃の授業において、全員が活躍し、主体的に学びに向かう子供たちの様子を参観できる機会を設けて参ります。

▲ 「本校の働き方改革」につきましては、第2段階に入っていると思っています。第1段階は、市教委からの提供で「留守番電話の設置」「在校時間把握のデジタル化」「校務用PC等の整備（他の市町よりもかなり進んでいる）」「日課の工夫等による放課後の時間の確保」といったことです。今後は、第2段階としてこれらによって生み出された時間を活用し、子供たちに良質な教育を提供することを考える必要があります。そのためには、職員が心身共に健康な生活を心がけることが重要であり、保護者や地域住民の理解も必要になってきますので、ご協力いただきますようお願いします。

【学校運営協議会委員ご自身の評価について】

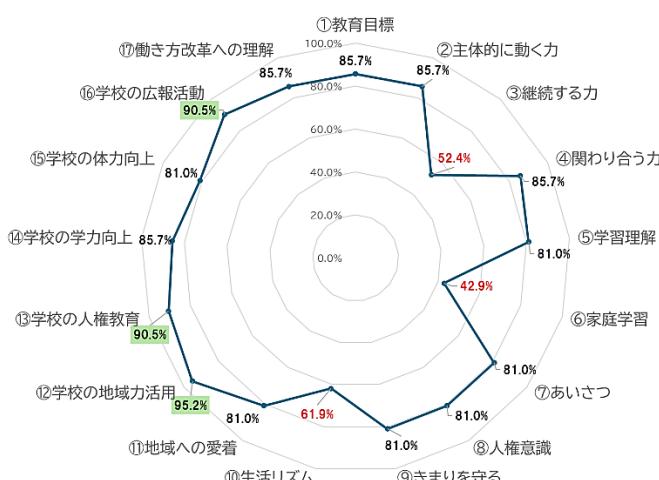
前述していることでもありますが、法に基づく学校運営協議会制度において、各委員の皆様は、ともに子供たちを育むために学校運営を担っていただくことになっています。年間5回の協議会はもちろん、機会ある毎に学校においていただき、子供たちの様子を見て、それぞれの立場から学校教育目標や資質・能力育成に向けて取り組んでいくようにして参りますので、遠慮なくご意見・ご提案等をよろしくお願いします。

【先日の学校運営協議会(子供たちとの合同熟議含む)で出された主なご意見】

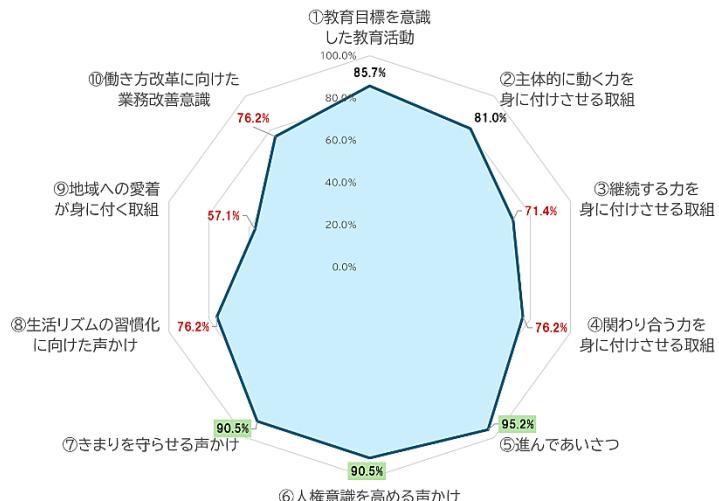
- ・メディアコントロールのためには大人もルールを守る。
- ・スマホなど親が見ているところで使うようにする。
- ・時間が来たら親に預けるようにする。
- ・包丁は危ないから使わせないのでなく、正しく使えばおいしい料理ができるように、メディアも使わせないのでなく、正しく使えるようになってほしい。
- ・「わからない」と答えている大人がいる。わかるようにあいさつをしていく。

【教職員による評価】

第1回学校評価結果【教職員から見た“子供や学校”的様子】



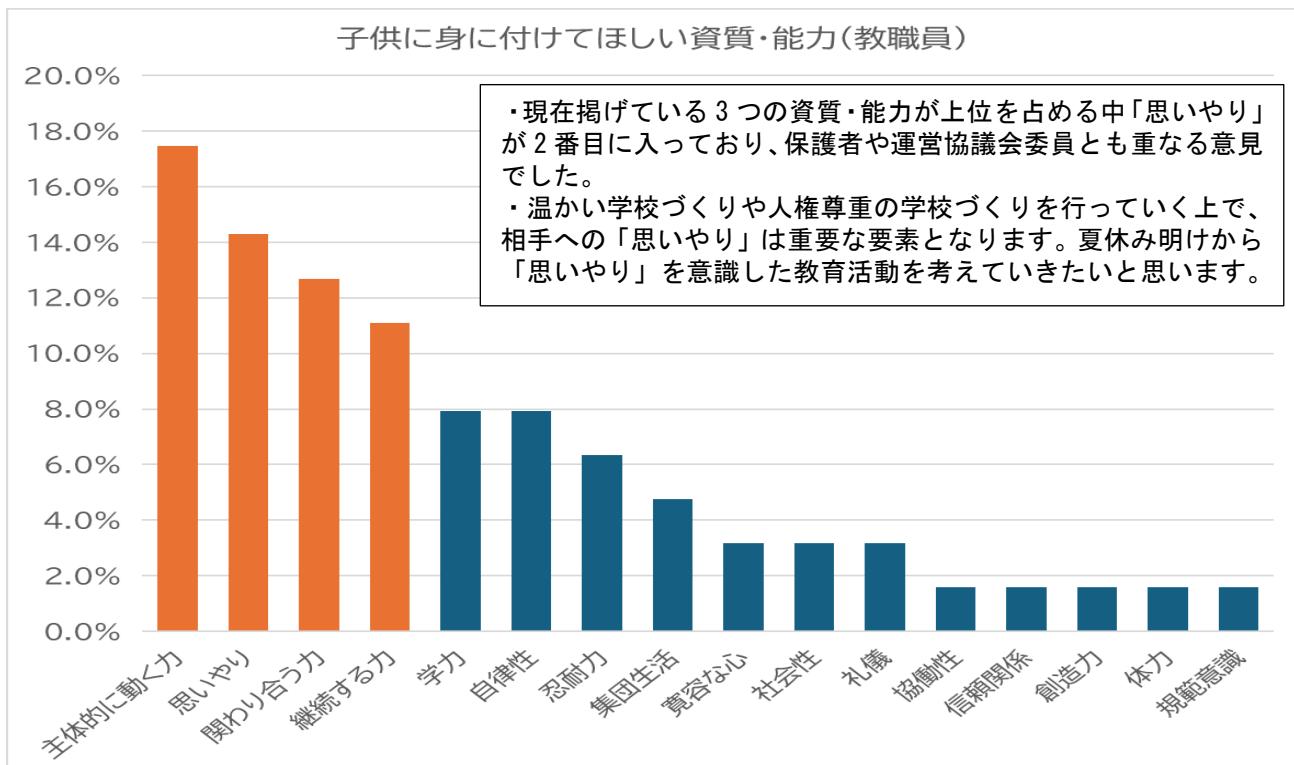
第1回学校評価結果【教職員自身の評価】



質問事項	肯定的な回答割合
① 子供たちは、教育目標「健やかで、豊かな心と確かな学力を身に付け、未来を力強く切り拓く子ども」に育っていると思いますか。	85.7%
② 子供たちは「主体的に動く力」が身に付いていると思いますか。	85.7%
③ 子供たちは「継続する力」が身に付いていると思いますか。	52.4%
④ 子供たちは「関わり合う力」が身に付いていると思いますか。	85.7%
⑤ 子供たちは、「学習内容がわかる」と思っていますか。	81.0%
⑥ 子供たちは工夫して取り組むような家庭学習を出していますか。	42.9%
⑦ 子供たちは、登下校など地域において、明るく元気なあいさつをしていると思いますか。	81.0%
⑧ 子供たちは、いじめを許さないなどの人権意識が育っていると思いますか。	81.0%
⑨ 子供たちは、お東やままり（地域における交通ルールや帰宅時刻、公園などの遊び方等）を守っていると思いますか。	81.0%
⑩ 子供たちは、生活リズム（早寝・早起き・朝ご飯）の習慣が身に付いていると思いますか。	61.9%
⑪ 子供たちは、地域とのつながり（地域での行事や活動等）を通して、地域への愛着が身に付いていると思いますか。	81.0%
⑫ 桜山小は、子供たちの良さを伸ばすために、学校運営協議会や地域人材を活用した取組に力を入れていると思いますか。	95.2%
⑬ 桜山小は、いじめや差別をなくすために、人権教育や心の教育に力を入れていると思いますか。	90.5%
⑭ 桜山小は、学力や健康面を考えた取組を工夫して行っていると思いますか。	85.7%
⑮ 桜山小は、体力や健康面を考えた取組を工夫して行っていると思いますか。	81.0%
⑯ 桜山小は、学校や学級の様子及びお知らせ（学校だより・ホームページ・学級通信・安心メール等）を適切に伝えていると思いますか。	90.5%
⑰ 桜山小は、職員の働き方改革に向けて業務改善や家庭・地域の理解が進んでいると思いますか。	85.7%

質問事項	肯定的な回答割合
① あなたは、教育目標「健やかで、豊かな心と確かな学力を身に付け、未来を力強く切り拓く子どもの育成」に向けて、教育活動において意識した取組をしていますか。	85.7%
② あなたは、子供たちの「主体的に動く力」を伸ばすために、教育活動において意識した取組をしていますか。	81.0%
③ あなたは、子供たちの「継続する力」を伸ばすために、教育活動において意識した取組をしていますか。	71.4%
④ あなたは、子供たちの「関わり合う力」を伸ばすために、教育活動において意識した取組をしていますか。	76.2%
⑤ あなたは、自分から進んで子供たちに明るく元気なあいさつをしていますか。	95.2%
⑥ あなたは、子供たちに対して、いじめを許さないなどの人権意識を育てる指導や言葉かけなどをしていますか。	90.5%
⑦ あなたは、子供たちが約束やままり（地域における交通ルールや帰宅時刻、公園などの遊び方等）を守るような指導や声かけをしていますか。	90.5%
⑧ あなたは、子供たちの生活リズム（早寝・早起き・朝ご飯）の習慣が身に付くように、指導や声かけをしていますか。	76.2%
⑨ あなたは、子供たちが地域への愛着を身につけるために、地域とのつながりなどを意識した教育活動を取り入れていますか。	57.1%
⑩ 働き方改革に向けた業務改善について、心がけていますか。	76.2%

学校教育目標や身につけてほしい資質・能力の実現に向けて、当事者意識を持つために、教職員自身の評価も実施しました。自分事として学校運営に参画していく必要性を持ってほしいと思います。



【学校教育目標等に関する内容 問1～問4】

▲ 他の項目に比べて、「継続する力」の評価が極端に低く出ていました。課題意識があるということです。ただし、教職員自身の評価においても「継続する力を身につけさせる取組」は71%止まりであったことから、子供たちに身につけてほしい資質・能力を掲げるだけでなく、教育活動にこれらの力が身に付くような内容を取り入れていきます。

【学習に関する内容 問5～問6】

○ 学習の理解「学習内容がわかると思いますか。」という質問ですが、8割を超える肯定的回答でした。「誰一人取り残すことのない学びの保障」を今後も進めていくとともに、「学ぶことが好き」と思える子供たちを増やしていきます。

▲ 意欲的に家庭学習に取り組むような手立てや学び続けたいと思えるような授業展開も必要であると考えています。与えられた課題に限らず、高学年に上がるにつれて自ら課題を選び、取り組む「自主学習」等を積極的に取り入れるといった工夫を行います。

【子供たちの生活等に関する内容 問7～問10】

○ 「あいさつ」「人権意識」「きまりを守る」などいずれも8割を超える評価でした。ただし、約2割は肯定的な回答をしていないことを重視し、子供たちのレベルアップに取り組んでいきます。

▲ 生活リズム等への声かけは、学校でも引き続き声をかけていきますが、ご家庭との連携が何より必要ですので、家庭への啓発を中心に進めて参ります。

【地域とのつながりや連携に関する内容 問11～問12】

○ 地域力活用については、学校運営協議会を核とした「防災熟議・防災実践」「ふれあいげんき祭り」「クリーン作戦」などが本校独自の取組としてカリキュラムに位置付けられていることから高い評価となっています。今後も地区協議会やげんき会等と連携を図り「地域とともに」の合言葉どおり20～30年後の地域を担う人材を育んで参ります。

【教職員自身の取組に関する内容 問13～問17 及び教職員自身の評価①～⑩】

○ 本校の人権教育への取組や広報活動について高い結果となりました。人権尊重の精神を基盤に据えて全ての教育活動を全職員で取り組んでいることや年間を通じた人権学習・人権集会等の成果だと考えます。しかしながら、これに満足することなく、「誰一人取り残さない」「誰もが活躍できる」桜山小学校にしていきます。

○ 学校HPや学校だより、学級通信等において今後もできる限り子供たちの活躍の様子、保護者や地域の方々にお伝えしたいことを「伝わる」ようにして参ります。

▲ 「継続する力を身につけさせる取組」「関わり合う力を身につけさせる取組」「生活リズムの習慣化に向けた声かけ」「地域への愛着が身に付く取組」「働き方改革に向けた業務改善意識」がいずれも低い結果となりました。全ての教育活動において、子供たちに身につけてほしい資質・能力を意識すること、地域とのつながりを意識したカリキュラム編成、そして子供たちと向き合う時間を作り出すための業務改善意識など、今一度考えていく必要があります。